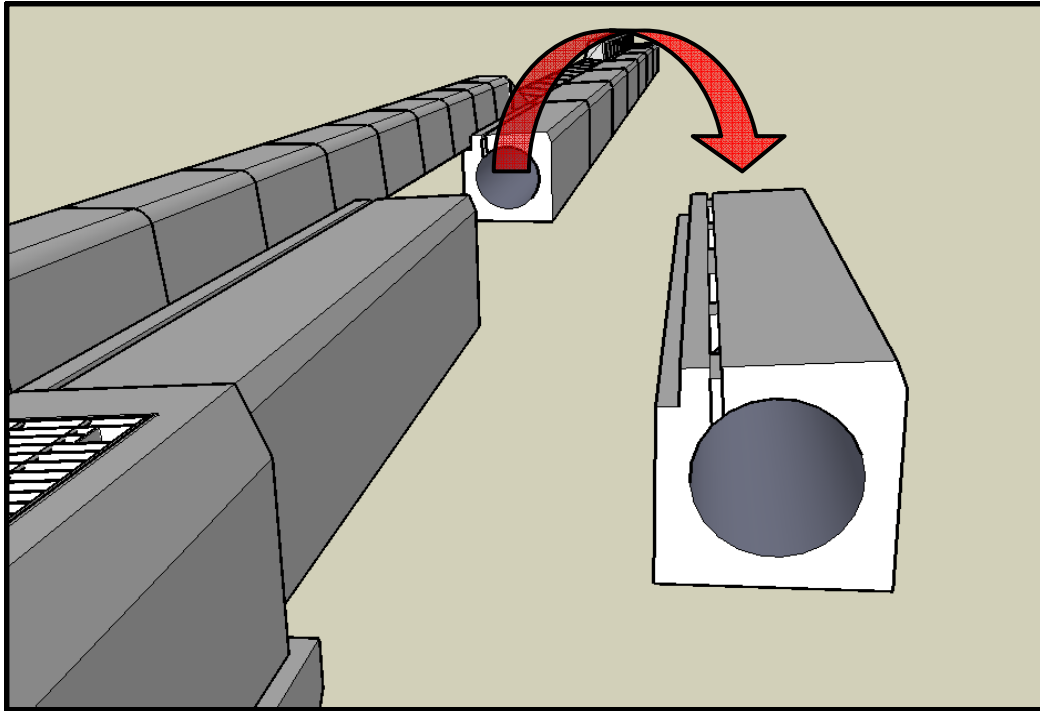


道路排水の
専門メーカー

アーボ箱形パイプの

NEW

自信作!! スリットES形

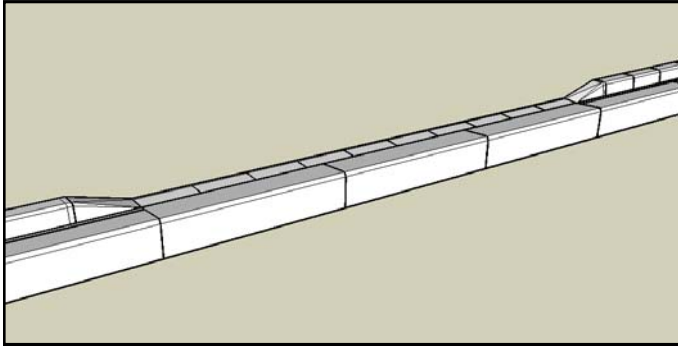


特長

- スリットの位置を見直し、歩車道境界ブロック側へ移動させたことで、**スリット部の角欠け・割れなどの破損が大幅に減少!**
- スリット幅を20mmとしたことで、**集水能力・詰まりにくさが向上!**
- 従来の**2%・6%勾配製品との互換性があり**、スリットなし（A形管）やグレーチング（C形管）を自由に配置できるため、目的に応じた設計が可能!
- **JIS型の歩車道境界ブロックが使用できる**ので、専用ブロックと比べ、設計の自由度が大幅にUP!

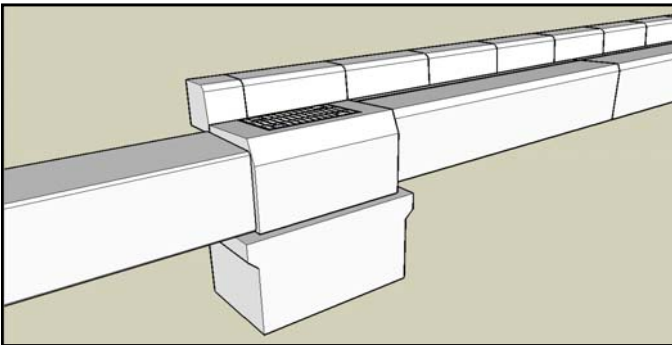
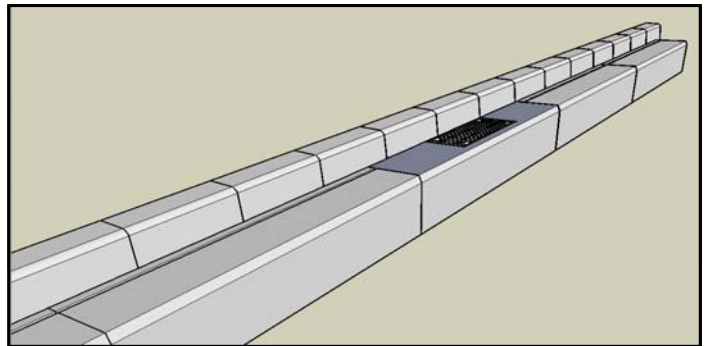


たとえば...



角欠けや破損が気になる乗り入れ部は、A形管(6%or2%勾配)を使ってください。集水しない代わりに、強度・耐久性を確保できます。又、連続集水が必要であるなら、E形管(56mmスリット付)での施工も可能！集水・強度を両立できます。

「柵はいらないけど点検口や清掃口はほしい」そんな時は、C形管を使ってください。従来の柵と同等の大きなグレーチングが付いており、ジェットとバキュームの両方のホースを同時に挿入できるため、清掃用の柵と同じ働きができます。柵を設置するよりも材工共に安価なため、工費削減にもなります！



交差点部で取り付け道路がある場合はSU-R(片さがい)柵を使ってください。5cmのサイフォン構造にはありませんが、舗装をかけられるため、道路上がスッキリます！又、2%と6%を切り替える柵も用意していますので、横断歩道は2%、それ以外は6%なんて使い分けもカンタンにできます。

「連続集水はほしいでも壊れやすい」こんなスリット形管渠の既成概念を打ち破るのがES形なのです。形状の特性を理解し、適材適所で使用することにより、破損や目詰まりを最小限にし、長期間の供用が可能になり、インシタルコストとランニングコストの両方を抑えることが可能であると考えています。

このほかにも様々な柵や箱形管との接続が可能で、多くのバリエーションが考えられます。詳しくは営業担当者にご相談ください。

